



# 地域の話題 アレコレ

市内の気になる話題をご紹介します。

## 2/16 益田清風高校生の地元就職へのきっかけに！

益田清風高校の生徒に、地元の企業を知ってもらおうと、市内9カ所の事業所が参加した「地元企業見学会」が開かれました。

就職を希望する2年生約70人が3グループに分かれ、金融業、製造業、旅館業などの事業所をグループごとに3カ所ずつ訪問。

事業所の熱心な説明を聞いた高校生たちは、身近な職場への就職に、魅力を感じていました。



職場を回り説明する事業所の担当者と、それに耳を傾ける益田清風高校の生徒たち＝湯之島、小川屋

## 3/3 「がんどうち」で、笑顔がまちにあふれる！

萩原地域や馬瀬地域などで、桃の節句の日に、子どもたちがひな飾りをしている家々を觀賞して回り、お菓子をもらおうという伝統行事「がんどうち」が行われました。

子どもたちは、大きな袋を手にして「ひなさま見しとくれ」と大きな声で家を訪ね、その元気な姿に、お菓子でもてなした家の人たちは、目を細めていました。(表紙記事)



きれいに飾られたひな人形に見とれる子ども＝萩原町萩原、天領酒

## 3/2 震度7を体験！想像以上の揺れにびっくり

金山地域の中宮団地自治会、中宮3丁目の自治会、かなやまこども園が共同し、防災意識の高揚を図るため、地震体験車による実習を行いました。

地震体験車により、「新潟県中越地震」をお年寄りから園児までが模擬体験。

体験者は、揺れで飛ばされないようテーブルや椅子にしがみついていた。



実習に協力した南消防署員が見守る中、地震体験車で模擬体験する園児＝金山町金山、中宮団地

## 3/7 感謝の気持ちを伝え、中学校生活を締めくくる

市内7校の中学校で、卒業式が行われました。昨年度の卒業生は318人。先生や保護者、在校生に見送られながら、3年間の思い出を胸に仲間とともに過ごした学びやを巣立ちました。

昨年度で閉校した馬瀬中学校では、最後の卒業式となりました。卒業生と在校生と一緒に校歌を合唱し、学びやの思い出を心に刻みました。  
※馬瀬中学校と萩原南中学校の統合については5月号でお知らせします。



馬瀬中学校最後の卒業式で、校長先生から卒業証書を受け取る卒業生＝馬瀬中切、馬瀬中学校